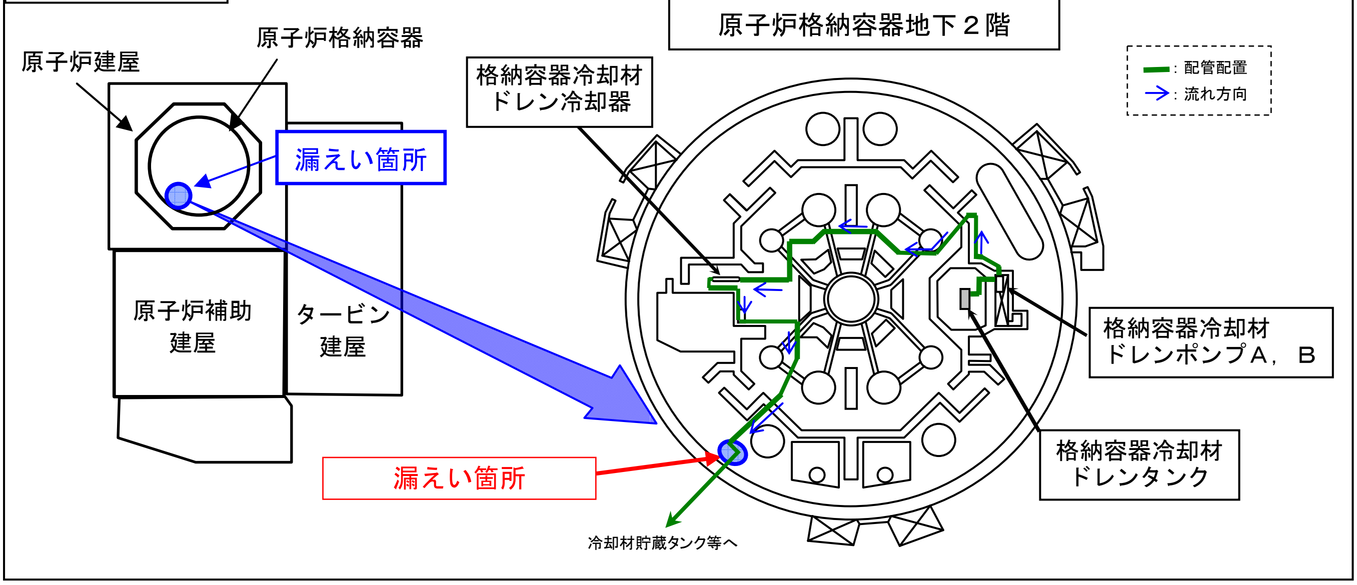
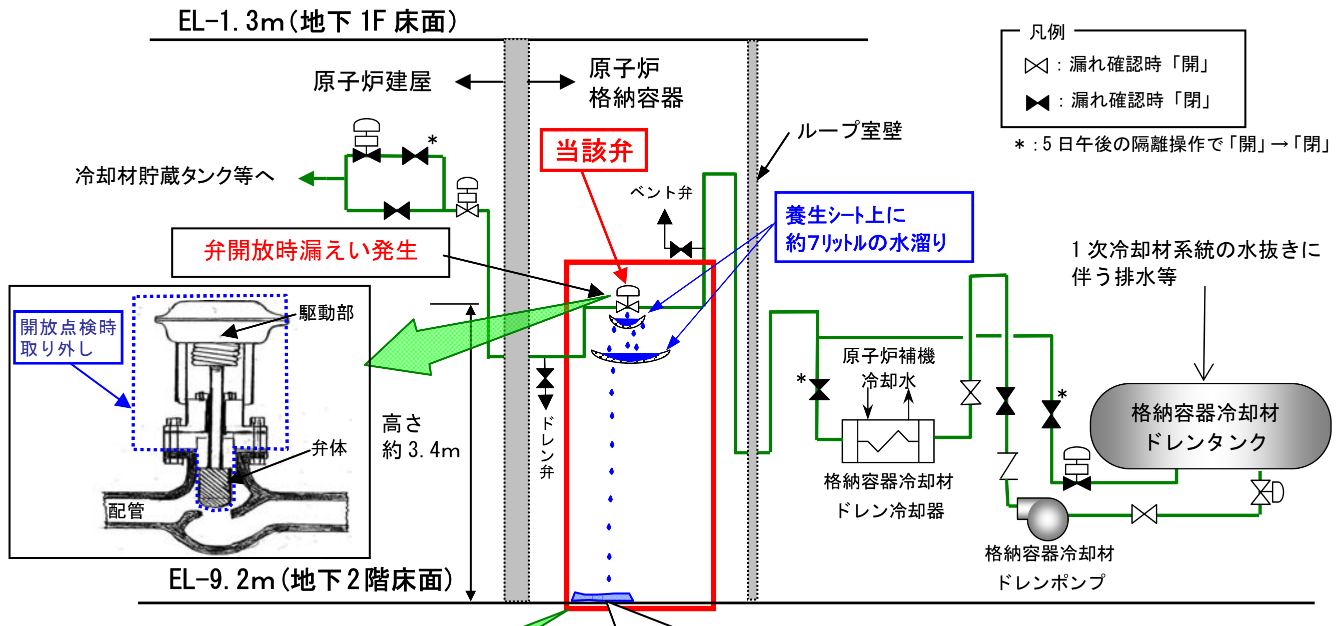
添付資料

原子炉格納容器内の弁からの漏えい状況

発生場所

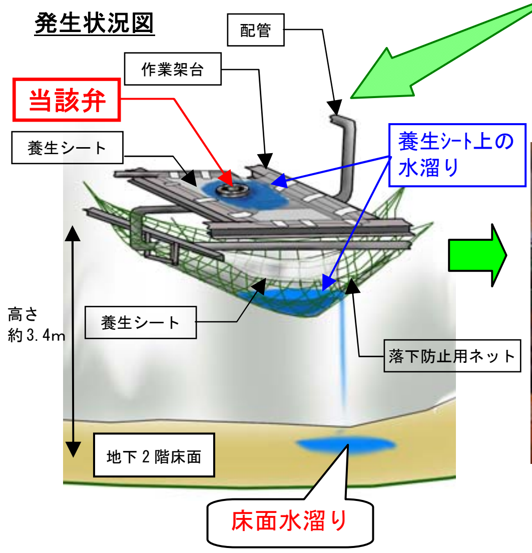

原子炉建屋
原子炉格納容器
漏えい箇所
原子炉補助建屋
タービン建屋
原子炉格納容器地下２階
格納容器冷却材ドレン冷却器
━：配管配置
→：流れ方向
格納容器冷却材ドレンポンプＡ，Ｂ
格納容器冷却材ドレンタンク
漏えい箇所
冷却材貯蔵タンク等へ

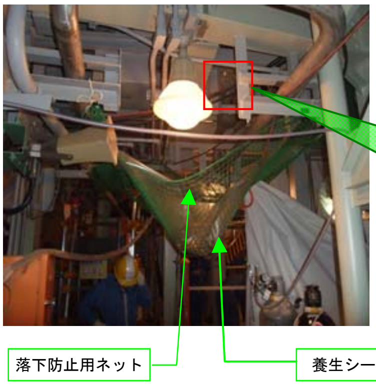
漏えい状況図

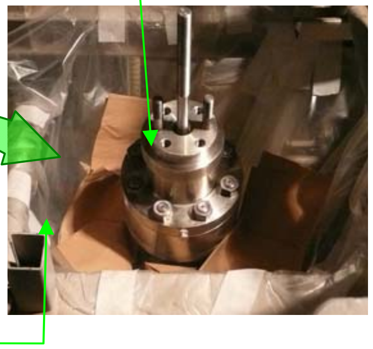

EL−1.3m（地下 1F 床面）
原子炉建屋
原子炉格納容器
ループ室壁
凡例
⋈：漏れ確認時「開」
⧓：漏れ確認時「閉」
＊：5 日午後の隔離操作で「開」→「閉」
冷却材貯蔵タンク等へ
＊
当該弁
ベント弁
養生シート上に約7リットルの水溜り
弁開放時漏えい発生
1 次冷却材系統の水抜きに伴う排水等
開放点検時取り外し
駆動部
弁体
配管
高さ約 3.4m
ドレン弁
原子炉補機冷却水
＊
＊
格納容器冷却材ドレンタンク
格納容器冷却材ドレン冷却器
格納容器冷却材ドレンポンプ
EL−9.2m（地下２階床面）

約３リットル（約３m×約 1m）漏えい
（放射能量：２．４×10^5Bq）

発生状況図


配管
作業架台
当該弁
養生シート
養生シート上の水溜り
高さ約 3.4m
養生シート
落下防止用ネット
地下 2 階床面
床面水溜り


落下防止用ネット
養生シート

現状の当該弁
（弁体が組み込まれた状態）